

岡山市

市民みんなでつくる！

精神障害者を地域で支える 『包括ケアの街岡山』実現に向けて

岡山市では・・・

精神障害者の地域生活における医療、保健、福祉その他精神障害者の地域生活を支えていく環境を整備していくうえでの課題に関する議論が、それぞれの領域毎に行われる議論の場はあった。しかしながら、それらを精神障害者の地域包括ケアシステムとして体系化していく検討は未だなされていない現状にある。

今回は、現状における岡山市の精神障害者の地域生活支援に係るこれまでの各実績を振り返るとともに、今後の地域包括ケアシステムに繋げていくことの課題について報告する。

1 県又は政令市の基礎情報

岡山市



＜岡山市の地域包括ケアシステム推進に向けての取組状況＞

- 岡山市では、平成27年4月に「障害のある人もない人も共に支え合って暮らすまちづくり」、「障害のある人の社会参加と自立促進」、「障害を理由とする差別や社会的障壁の解消」の3点を基本理念とする「岡山市障害者プラン」及び「第4期岡山市障害福祉計画」を策定。医療、保健、福祉に係る関係各部署が、各領域毎の地域包括ケアシステムの検討を開始した。

しかしながら、精神保健福祉領域に関する包括ケアシステムに関しては、明確にシステム化を構築するための協議や策定には至っていない。

基本情報

障害保健福祉圏域数	1カ所		
市町村数	1市		
人口（H28年12月1日時点）	721,120人		
精神科病院の数（H28年12月末）	8病院		
精神科病床数（H28年12月末）	2,796床		
入院精神障害者数 （H28年6月末）	3か月未満：541人（25.4%）		
	3か月以上1年未満：369人（17.4%）		
	1年以上：1216人（57.2%）		
	うち65歳未満：408人 うち65歳以上：808人		
退院率（H28年6月末）	入院後3か月時点：79.1%		
	入院後6か月時点：不明		
	入院後1年時点：12.7%		
相談支援事業所数（H29年1月末）	基幹相談支援センター：0		
	一般相談事業所数：47		
	特定相談事業所数：47		
障害福祉サービスの利用状況 （H28年12月）	地域移行支援サービス：4人		
	地域定着支援サービス：44人		
保健所（H28年1月末）	1カ所		
（自立支援）協議会の開催頻度 （H28年）	1回／年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	都道府県	有・無	0カ所
	障害保健福祉圏域	有・無	0カ所
	市町村	有・無	1カ所
精神保健福祉審議会（H28年度）	1回／年、委員数12人		

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

《精神障害を持っても、暮らしやすい街づくり》

□適切な医療や相談が受けられる街

身体科・精神科双方の医療機関による連携のもと、必要に応じた医療や相談が受けられる体制整備。未受診や医療中断などによる地域生活の維持及び継続が困難となっている者への支援。

⇒精神科救急情報センター、精神科病院群輪番制度、

⇒身体・精神合併症救急連携事業

⇒危機状況への介入、通報後フォロー会議、岡山市精神保健医療緊急対応連絡会

□障害があっても、わけ隔てのなく受け入れられる街

全ての市民が相互に人格と個性を尊重しあいながら共生できる街づくりにむけ、障害当事者が主体となって活動を行う場の整備、精神疾患位に関する理解の普及啓発に促進と、精神障害者の地域生活安定のための環境づくり。長期入院者の退院支援に関して、病院や地域援助事業所などとの継続的かつ効果的な連携の強化。

⇒岡山市障害者等自発的活動支援事業、精神障害についての普及啓発事業

⇒岡山市差別解消支援地域協議会、日常生活自立支援事業

⇒岡山市精神障害者地域支援対策協議会

□障害を持つ方が希望を持ち、自己実現がなされる街

障害を持つ方が生きがいを持ち、社会参加の機会が得られる環境の整備、障害者同士が交流が図れる場の提供。障害者の生活基盤の安定のための、支援者間の情報共有と支援方針を協議。

⇒障害福祉サービス事業

⇒岡山市精神障害者ピアサポート活動支援事業、当事者会、家族会

⇒障害者虐待防止会議

それぞれの活動は行われているものの・・・

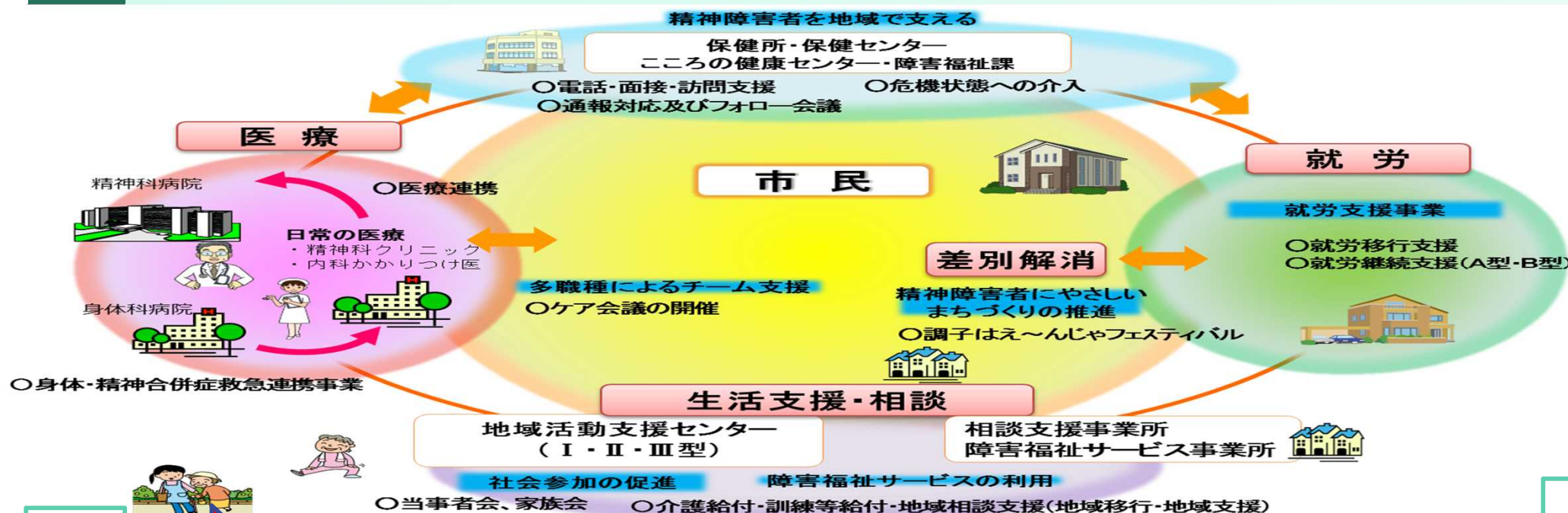
○精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを想定しての協議の場がない

○包括ケアの体制化に関する課題などの整理も未着手

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組む協議の場(H27年度)

関係機関の役割		
福祉区ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	岡山市地域精神保健福祉連絡会（全6地区）
	協議の内容	精神保健福祉医療に携わる関係者の相互の役割を理解し、連携を深めるとともに関係者の資質の向上に向けての事例検討会、研修会を実施
	協議の結果としての成果	全6地区で計6回開催 参加機関：延107機関、参加者：延224人
行政区ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	
	協議の内容	
	協議の結果としての成果	
市町村ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場	協議体の名称 設置根拠	①岡山市身体・精神合併症救急連携事業ミーティング②岡山市依存・嗜癖関連問題対策審議会 ③岡山市自立支援協議会精神保健福祉部会(精神保健福祉連絡会) ④岡山市精神障害者団体連絡会 ⑤精神障害者地域支援対策審議会
	協議の内容	①精神疾患を有する身体科救急対象者について、両科の医療連携体制に関する協議 ②依存症対策に関する普及啓発、医療体制の拡充、相談支援、支援者研修等に関する関係者の協議 ③精神保健医療福祉領域に携わる関係者による地域課題に関する協議。地域移行支援、定着支援に関する検討、その他精神保健医療福祉に関する課題検討等の協議 ④ピアサポーターの育成、活動支援、当事者活動(フェスティバル)の関する運営支援についての協議 ⑤精神障害者の継続して地域生活を支える施策などについて、専門的見地での評価検討
	協議の結果としての成果	①計55事例に対する両科医師によるコンサルテーション実施 ②委員による審議会：1回/年開催 参加機関：15機関、参加者：20人 ③精神保健福祉連絡会幹事による協議：2回/年開催 参加機関：延47機関、参加者：73人 連絡会全体研修会：1回/年開催 参加機関：40機関、参加者：70人 ④ピアサポーター養成講座受講者：8人、派遣回数：19回・延58人 ⑤審議会：1回/年開催 参加機関：15機関、参加者：20人 地域移行支援事業(こころの健康センター)：対象者20人・退院者：5人(事業総計：28人)

2 岡山市の精神障害にも対応した地域包括ケアシステムのイメージ図（全体）



協議・立案・提言

課題提起・報告



（兼 精神保健福祉連絡会）

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- 岡山市では、平成21年に政令指定都市となって以降、精神障害者の地域生活支援体制の拡充に向け、保健、医療、福祉各領域との連携を念頭に、各事業を実施。
- これまで縦断的な精神障害を持つ方の地域生活支援に関する事業について、地域精神保健福祉連絡会においての各地域毎の協議と、同会幹事会により各福社區から挙げられた課題の共有等を実施してきたが、地域包括支援の視点のもと、地域包括ケア体系化に向けての協議は実施出来ていなかった。



- 平成27年4月に「障害のある人もない人も共に支え合って暮らすまちづくり」「障害のある人の社会参加と自立促進」「障害を理由とする差別や社会的障壁の解消」の3点を基本理念とする「岡山市障害者プラン」及び「第4期岡山市障害福祉計画」を策定。これを受け、保健所運営会議において、精神保健福祉領域でも地域包括ケアの体系化を念頭に、今後の精神障害者地域生活支援を検討する必要があるのではないかとの意見が出たため、試行的にシステム像のイメージの検討がなされた。しかしながら、現在においてもシステム構築のための明確なプランは出来ていない。

今後、自立支援協議会精神保健福祉部会等、障害当事者、医療、保健、福祉、その他地域で精神障害者の地域生活に関わる関係者との間で、地域包括ケアシステムとその内容について、協議を行っていくことが必要と考える。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

特徴(強み)

1. これまでの地域精神保健福祉連絡会での活動より、各地域に存在する医療機関、障害福祉サービス事業所、相談支援機関および行政の間で、顔が見える関係が構築されており、地域包括ケア体制について共有および検討がなされやすい土壌がある。
2. ピアサポーターをはじめ、当事者とそれを支える地域活動支援センター等が積極的な活動が経年的に行われている。
3. 障害福祉サービスにおける地域移行支援事業以外に、市独自の事業としてこころの健康センターが医療機関への訪問や研修会を経年的に実施している。医療機関等関係機関側の理解の促進がなされつつある。

課題

1. これまでに精神障害者に対応した地域包括ケアシステムの構築をテーマに協議する場が設けられていない。
2. 精神障害者の数に対し、訪問看護、在宅支援および計画相談支援事業所等の数が不足している現状にある。
3. 今後の精神保健福祉施策の提言に向け、各福祉区毎、各協議会毎の検討課題は挙げられているものの、市全体として取り組むべき課題を集約し、重点施策として体系化させていく体制が未整備。自立支援協議会精神保健福祉専門部会等で整理と検討が必要である。

指標の推移	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1年以上の精神科病院在院患者数（各年6月30日現在）（人）	1365	1287	1237
地域移行支援利用者数（各年度3月末時点）（人）	3	4	3
ピアサポーターの養成者数※（実人数）（人） ※ピアサポーターの養成を目的とした取組を実施している場合	10	7	8
ピアサポーターの活動者数（実人数）（人）	未実施	8	21

平成28年度の目標と達成状況の方向性(暫定評価)

1. 平成22年度から実施をしてきた、精神保健福祉に係る関係機関との研修会等を行う地域精神保健福祉連絡会での活動と、その中で挙げられた課題を、市内6福祉区から選出の幹事と協議を実施。今後は、岡山市における精神保健福祉領域での課題整理とそこからの政策提言を図るため、平成29年度からの精神保健福祉部会の運営については、体制を改めて開始していく方針が決められた。
2. 本年度においては、地域包括ケアの側面を念頭においての各事業成果の振り返りと、今後の事業展開に関する議論がなされていなかった。次年度以降の各活動計画に地域包括ケアの視点をもって議論を行い、精神保健福祉部会等の場において協議について調整を図る。
3. ピアサポーターの活動については、養成者数は増加してきている一方、今後活動の場を拡充や、地域移行支援事業とのタイアップについて、検討を行う必要がある。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成29年度 of 取組スケジュール

平成29年度の目標

1. 平成29年4月から自立支援協議会において、精神保健福祉領域における課題整理と政策提言を推進するため、地域精神保健福祉連絡会と分離した精神保健福祉部会での活動において、精神障害者の地域生活支援体系に係る協議を行う。
2. 引きこもり支援の一環として、ピアサポーターの個別訪問事業の充実を図るため調整にむけて協議を行う(予定)。
3. 障害福祉サービスにおける地域移行支援の一層の活用に向けて、医療機関職員に理解を深めていくためし、事業所職員らと医療機関への周知を図る。(予定)。

時期(月)	実施内容	担当
H29年通年	岡山自立支援協議会精神保健福祉部会にて精神障害者の地域生活支援に関する協議開始(『地域移行支援』をテーマに協議を開始予定)	岡山市保健所
H29年通年	岡山市地域移行支援事業対象者への個別支援、関係機関への研修会(予定)	こころの健康センター
H29年5月～ 適宜	平成29年度のピアサポーターの活動方針に向けて協議 在宅者への訪問活動に関して検討・調整(予定)	岡山市保健所
H29年7月 ～10月	平成29年度ピアサポーター養成講座	岡山市保健所
H29年8月～	障害福祉サービスにおける地域移行支援サービスに係る検討会(予定)	相談支援事業所 岡山市保健所
H29年10月 平成30年1月 ～2月	市長同意入院者への個別面接実施(予定) 岡山市精神障害者地域支援対策協議会	こころの健康センター こころの健康センター 保健管理課